

内閣総理大臣 安倍晋三様
防衛大臣 稲田朋美様
沖縄防衛局長 中嶋清一郎様
浦添警察署長 崎原永克様

不当逮捕に抗議し、二人の即時釈放を求めます

2016年10月21日（金）

日本基督教団 神奈川教区
総会議長 平良愛香

20日、高江の米軍ヘリパッド建設工事を巡って、防衛省沖縄防衛局の男性職員に怪我をさせたとして、既に17日に別件で逮捕されていた山城博治さんが傷害と公務執行妨害の容疑で再逮捕され、日本基督教団・・・・・・・・・・・・・牧師も同容疑で沖縄県警に逮捕されました。私たちは、このことがヘリパッド建設への抗議行動を弾圧するための不当な逮捕であるとして、強く抗議すると同時に、二人の即時釈放を求めます。

報道によると、逮捕容疑は8月25日朝、沖縄防衛局員の腕や肩などをつかんで怪我をおわせたことだと伝えられていますが、なぜ二か月も経とうとする時点での逮捕なのでしょう。また、ヘリパッド建設に非暴力で反対する市民たちが機動隊によって首を絞められ、車にひかれ、怪我をおわされ、失神させられ、救急搬送されることが毎日のように起きている現場で、なぜ機動隊の暴力の犯罪性は一切問われていないのでしょうか。実際、辺野古や高江での抗議行動で、キリスト者を含む多くの市民が全治数か月の怪我を機動隊によっておわされています。その暴力性を訴えているにも関わらず、何事もなかったかのように抗議する人々を弾圧し、工事を続けさせていくのはいったいどういうことなのでしょう。これは、辺野古新基地建設、高江ヘリパッド建設という一連の流れを、権力側が暴力を用いても貫き、力づくで反対する人々を排除しようとするというやり方を正当化しようとしているのにほかなりません。ゆえに私たちは、この二人の逮捕は、市民弾圧のための不当逮捕であると判断します。防衛局職員が全治二週間の怪我であるとの報道ですが、怪我の具体的な内容にも、疑念を持たざるを得ません。

機動隊員による暴言がこのたび明らかになりました。この差別と侮蔑に満ちた言動に怒りを禁じえません。それは、たまたま暴言を口にした機動隊員だけの問題ではなく、沖縄をそのように軽んじているということの現れであるということ強く感じるからです。命を守ろうとし、平和を実現しようとしている沖縄を尊ぶどころか、米軍基地を押し付け、新たな基地やヘリパッド建設に反対・抗議する人々を暴力で制圧し、ときには「悪者」であるかのように扱う意識が発言に現れました。そして今回の逮捕にもそれが現れているのです。

私たちは、抗議行動を封じ込めるために行われた、今回の二人の不当な逮捕に抗議し、即時釈放を求めます。また、普天間基地を即時無条件に返還させると共に、辺野古への新基地建設および高江へのヘリポート建設の即時中止を強く要望いたします。